

## 地方自治体格付け

2008年11月11日

お問い合わせ先：

柿本与子、東京 電話 03-4550-8705  
成松恭多（メディア・コンタクト）、東京 電話 03-4550-8411  
プレスルーム(電子メールによる配信、送信トラブル)  
電話 03-4550-8411 Fax 03-4550-8740  
電子メール [tokyo\\_pressroom@standardandpoors.com](mailto:tokyo_pressroom@standardandpoors.com)  
日本語ウェブサイト <http://www.standardandpoors.co.jp>

### 政府追加経済対策への準備金拠出、地方金融機関の格付けに影響なし

(2008年11月11日、東京=S&P) 地方公営企業等金融機関(AA/安定的/A-1+)は、日本政府(AA/安定的/A-1+)の「生活対策」に盛り込まれる自治体支援事業の原資として、金利変動準備金のうち3,000億円を取り崩して政府に納付する見込みである。同機関の貸付業務における経営の安定性への影響は限定的であるうえ、必要時には地方自治体や日本政府による支援が見込めることなどから、同機関の格付けには影響しないとスタンダード&プアーズは判断している。

同機関は旧公営企業金融公庫の資産と負債を継承して10月1日に発足した。全国の地方自治体によって100%出資・運営されている。自治体支援事業の原資として予定されているのは旧公庫債権の管理勘定における準備金で、取り崩されるのは必要額を推定した当時の想定金利・事業量と実績との差によって生じた余裕額の部分である。同機関が貸付業務を行う一般勘定については準備金の変動はなく、また同機関に対する地方自治体や日本政府の支援が引き続き見込まれることから、同機関の全般的な経営の安定性は維持されるとスタンダード&プアーズは考えている。同機関の格付けには従来、自治体によるタイムリーな支援に加えて、管理勘定の資金繰りにおける政府保証の付与が引き続き可能であるなど日本政府との一体性が極めて高いと考えられることを織り込んでいる。

\*文中の発行体格付けは「長期/アウトルック/短期」で表示。

スタンダード&プアーズは、マグローヒル・カンパニーズ(NYSE:MHP)の一部門であり、世界の金融市場に対して独立した立場から、信用格付け、株価指数、株式リサーチ、データなどの金融情報を提供している。100%子会社を含め23カ国に約8,500名のスタッフを擁し、世界の金融インフラストラクチャーのなかで重要な役割を担っている。投資や金融取引の意思決定に不可欠な情報である独立したベンチマークの提供者として、140年以上にわたって主導的な立場にある。詳細は当社日本語ウェブサイト([www.standardandpoors.co.jp](http://www.standardandpoors.co.jp))まで。

マグローヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、ビジネスウィーク、マグローヒル・エデュケーション、J.D. パワーなどを通じて、金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供する、国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に280カ所以上の拠点を有している。詳細はウェブサイト([www.mcgraw-hill.com](http://www.mcgraw-hill.com))まで。

格付けを商業目的でスタンダード&プアーズの有料情報サービスに類似したデータベースに蓄積したり、自動的に配信することを禁止します。